

今期定例会は、平成18年度の予算を初め、重要案件についてご審議をいただきます。議案の説明に先立ち、市政運営に当たる基本方針と平成18年度の施策の概要を申し上げ、議員の皆様のご賛同を賜り、あわせて市民の皆様に一層のご理解とご協力をいただきたいと思います。

国におきましては、三位一体の改革、公務員の人件費削減など、小さな政府実現のための改革が進められております。このような中で、国から地方への方針のもとに、3兆円の税源移譲、地方交付税の見直し、4兆7000億円の補助金改革などが進められております。しかしながら、地方を取り巻く環境は、地方の望む自主自立による分権型地域社会への実現に一步一步近づきつつも、依然として厳しい財政状況の中で、行政運営を行っているのが現状であります。今後、さらに一層、真に地方みずからが政策を実行できる改革を望むところでございます。

このような状況の中で、本市は、合併後における早期の一体感の醸成と、合併効果を最大限に生かし、常陸太田市総合計画並びに合併まちづくり計画に基づきまして、市民の皆様が住んでいてよかったと心から思えるまちの実現を目指して、一つ一つ着実に諸施策を進めてまいります。

さらに、合併後の新市の将来像を長期的な視点に立って見通し、市政運営を総合的かつ計画的に行うため、平成19年度を初年度とする今後10年間の新総合計画策定に取り組んでおり、元氣と魅力あふれるまちの実現、少子高齢化社会への対応、企業・団体・市民との協働、新市の早期の一体化、行財政改革など、市民生活の一層の向上を目指す計画として策定を進めてまいります。

平成18年度一般会計の予算規模は、237億8100万円で、0.5%の減であり、一般・特別・企業の各会計を合計しますと、453億2959万4千円で、2.7%の増となっております。

各分野における施策の基本的考え方としては、第1に「健康で安心して生き生きと暮らせるまち」について、ひとり暮らしの虚弱高齢者の安否確認や日用品買物の支援として、宅配・買物代行サービス事業を新設します。また緊急通報体制整備事業、放課後児童クラブの新規開設及び対象児童の4年生までの拡大、働き盛りの方のミニドック検診事業、天下野診療所、里美歯科診療所の建設を進めてまいります。

第2に「自然を活かし快適に暮らせるまち」については、市街地整備の中では、鯨ヶ丘の歴史的景観を生

かした街なみ環境整備事業、旧消防庁舎跡地の地域住民を交えた計画づくりと中心市街地活性化計画との整合性のとれた土地利用、新市の玄関口となる常陸太田駅周辺地区の事業推進、地方道路整備臨時交付金事業、安全快適なまち緊急整備事業等41路線の整備や公共下水道事業・農業集落排水事業の推進、救急業務として中染分署里美出張所の整備をしてまいります。

第3に「地域の魅力を活かした活力あるまち」については、新設の常陸太田市担い手育成総合支援協議会を核とした認定農業者の育成・確保、集落営農組織への支援・誘導、茶加工施設整備補助事業、常陸牛黒毛和種等の生産奨励、金砂郷産常陸秋そば、米、新品種ブドウ等のより一層のブランド化、体験型観光によるグリーンツーリズムの推進、特色ある観光土産品の育成・開発と効果的な宣伝、トップセールスによる優良企業の誘致等に努めてまいります。

第4に「個性豊かなキラキラと輝く元氣なまち」については、図書館本館と金砂郷、水府、里美分室の連携を図り、図書館ネットワークシステムの活用による読書環境の整備、学校等については、地域子ども安全ボランティアの協力による児童生徒の安全確保、不登校問題の対応とし

て適応指導教室を開設、全国少年野球教室を初めとするスポーツ教室や各種スポーツ大会の開催、水府及び里美の両センターを統合した学校給食センターの建設、姉妹都市交流では、秋田市、仙北市との新たな交流関係構築の諸準備、牛久市への市民交流団派遣等を進めてまいります。

第5として「計画推進」については、市民バスの4地区を結ぶコースの増設、市民参画によるフォーラムや女性議会の開催、市内全小学校区毎の市政懇談会、合併調整項目の推進、事務事業の整理統合、人材育成のための民間企業での職員研修、財政基盤の強化を図るための一層の定員管理、給与の適正化、民間委託の推進、指定管理者制度の導入及び補助金の整理合理化等により、行政経費の節減を図るなど、行政改革を推進してまいります。

以上、平成18年度の施政方針を申し上げます。

(なお、主な施策の詳細については、広報ひたちおた4月号をご覧ください。)

議長あいさつ



生田目久夫議長

平成十八年度の「常陸太田市議会だより」の発行に当たり、議会を代表いたしましたことあいさつを申し上げます。市民の皆様方には、日頃から市政に対しご支援とご協力をいただき心から感謝を申し上げます。

三月定例会は、三月八日から二十四日までの会期により、児童手当の拡充や天下野診療所及び里美歯科診療所整備事業、(仮称)中染分署里美出張所整備事業、学校給食センター里美センター建設事業などを盛り込んだ平成十八年度各会計予算など、五二議案について本会議・委員会を通し審議を行いました。

また、一般質問では、十四名が質問に立ち、施政方針や行政改革・道路整備など市政全般にわたり質問がされました。

また、三月定例会において、議員定数調査特別委員会で調査を進めていた議員定数について最終報告が行われ、次の告示される選挙から二十六人と決定したところであります。

さらに、議会最終日には、政治倫理条例制定に向けて調査・研究を行うため政治倫理に関する調査特別委員会を設置しました。

また、十二月定例会では、今年一月から、本会議・委員会に出席した場合の費用弁償を廃止したところであります。私ども議決機関といたしましては、議会に与えられた機能を十分に生かし鋭意努力いたす所存であります。結びに、市民の皆様方の益々のご健勝を心から祈念申し上げあいさついたします。

第一回市議会定例会

平成十八年度施政方針(要旨)

三月八日開会の平成十八年第一回市議会定例会において、大久保太一市長は、平成十八年度の「施政方針」を明らかにしました。その要旨を紹介します。



施政方針を述べる
大久保太一市長